

20XX年X月X日。携帯電話から緊急地震速報が鳴り始めた後、有田川町をマグニチュード9.1、最大震度6強の大地震が襲います。

町内では800棟以上の家屋が全壊、全ての電気の供給が停止、電話は不通に。また、水道はほぼ全ての世帯で使用できなくなります。

発生時に自宅にいるとは限りません。

職場や、学校、車内、

農地、繁華街、スーパー

…。今回発生した地震

の規模では、立っ

ることが困難になり、

固定していない家具や物が移動、倒れ、

下敷きになったり負傷したりします。

なお、震度7規模の揺れの場合、自らの

意思での行動は四つん這いですらもで

きないと考えてください。

揺れが収まり、動けるようになれば、

すぐに物が「落ちてこない・倒れてこ

ない・移動しない」場所に移動をしま

しょう。ガラス・陶器の破片などに気



大地震発生直後

自分の命を守ることを最優先に

自宅での危険

リビングやキッチンでは背の高い家具の下敷きにならないように、また窓や照明器具、食器棚、食器などのガラスや陶器の破損・飛散によるけがにも注意が必要です。電子レンジや炊飯器が飛んでくることもあります。

寝室にいる場合は、布団や枕などで

をつけながら、火元の確認と出口の確保を行います。

もし閉じ込められたり、身動きができなくなったりした場合、大声を出し続けると体力を消耗します。硬いものでドアを叩くなど、大きな音を出して自分の存在を外に知らせてください。

頭を保護、家具などが倒れてこない場所への移動が必要です。眼鏡を使っている人は、破損に注意。

2階にいるときには無理に脱出をせず、様子を見ます。たとえ家がつぶれたとしても、2階のほうが重いものがない分、空間に隙間ができれば、生き延びられる可能性が高いです。

外出先での危険

オフィスではキャビネットの転倒や、固定していないキャスター付きのコピー機がすごい勢いで移動してきたり、机

の上のパソコンが飛んできたりします。職場内で一番安全なのは、非常口に近く、物が置いていないところです。スーパーやコンビニにいるときには、商品が凶器になります。出口を求めて人が一箇所に殺到します。天井からの落下物を守るため、レジのかごやバッグなどで頭を守り、商品棚から離れてください。

運転中に大きな揺れを感じると、パンクをしたような衝撃があります。そこで急ブレーキを踏むと追突事故につながる恐れがあるので、ハンドルをしっかり握り、徐々にスピードを落として左側に停車。エンジンを止めて揺れが収まるまで待ちましょう。

避難するときの注意

- ・正確な情報を得る。
- ・むやみに動かない。
- ・ガラスなどでけがをする危険があるので、部屋の中でもはだしで歩かない。
- ・通電火災を防ぐため、ブレーカーを落とす。
- ・ガスの元栓を閉める。
- ・「黄色い旗」を玄関先などに置く。
- ・落下物から身を守る。
- ・切れた電線は感電の危険があるので触らない。
- ・途中で救出活動を行う場合は、けがの恐れがあるので1人ではなく複数人で行う。
- ・緊急車両の妨げになるので、車は使わない。
- ・夜間の避難時は転倒や側溝への転落が起こりやすいため、懐中電灯を使い、広い道を通る。